



再生材料を使用・60%
スラグ

カチオンプラス#3

カチオン性下地調整材
(ポリマーセメントモルタル)

荷 姿



20kg紙袋

適用塗厚

1.5~4mm

標準施工面積

4.5m²/袋(3mm)

特 長

カチオンプラス#3は、新築の吹付下地や塗装下地、防水工事(仲介接着、仮防水機能)あるいはリニューアル工事における下地処理など、様々な下地調整にご使用頂ける汎用性に優れた高性能な下地調整材です。

- 1.高性能な再乳化型粉末樹脂を配合していますので、各種下地に対する接着性に優れ、耐久性に優れます。
- 2.規定量の水道水と練り混ぜるだけで簡単かつ高品質な材料を安定して作ることが出来るので品質管理が容易で経済的です。
- 3.紙袋の為、廃材の処理がしやすく現場の環境負荷低減にも貢献します。
- 4.作業性が良く、施工効率が向上することで工期短縮が図れます。

製品仕様

適用下地	コンクリート、モルタル、ブロック、PC板、ALC板、既存タイル施工面等
適用部位	内外壁、内外床、天井
適用化粧材	陶磁器質タイル、クロス、塗料、仕上塗材、Pタイル、塗床、タイルカーペット、防水材等

上表以外の適用につきましては、お問い合わせ下さい。

試験表

下記の試験結果は、試験方法によって定められた条件によって得られたデータであり、実際の現場での性能を保証しているものではありません。

二瀬窯業(株) 試験室

項目 [単位]	試験結果	品質基準	
軟度変化 [%]	6.9	-20~20	
耐ひび割れ性	ひび割れなし	ひび割れがない	
耐衝撃性	ひび割れ及び剥がれなし	ひび割れ及び剥がれがない	
曲げ強さ [N/mm ²]	6.1	5.0以上	
圧縮強さ [N/mm ²]	22.0	10.0以上	
付着強さ [N/mm ²]	標準養生	2.4	1.0以上
	低温養生	1.0	0.7以上
吸水量 [g]	0.8	2.0以下	
透水量 [ml/h]	0.4	0.5以下	
長さ変化率 [%]	-0.12	0~-0.15	
仕上材が複層 仕上塗材の場合の 耐久性 [N/mm ²]	外 観	割れ、膨れ及び剥がれなし	割れ、膨れ及び剥がれがない
	付着強さ	1.1	1.0以上
仕上材がセラ ミックタイルの場合の 耐久性 [N/mm ²]	付着強さ	1.6	0.6以上

試験方法: JIS A 6916²⁰¹⁴(CM-2)

付着強さ試験

項目 [単位]	標準付着強さ	温冷繰返し10サイクル後の付着強さ
コンクリート板 [N/mm ²]	2.10	2.34
磁器質タイル [N/mm ²]	1.61	1.80
鉄板 [N/mm ²]	1.86	1.42

養生条件 ① 標準付着強さ: 20℃、80%R.H.で2日間静置後、20℃、60%R.H.で14日間養生

② 温冷繰返し後: 標準養生後、温冷繰返し10サイクル (20℃水中18時間浸漬 → -20℃の恒温器で3時間冷却 → 50℃の恒温器で3時間加熱を1サイクルとする)

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0908046
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

水濡れ厳禁 無石綿 業務用



二瀬窯業株式会社

Making quality premixed mortar through research and development

施工方法

関連資材



公共建築協会
建築材料等評価名簿掲載材料
吸水調整材(モルタル用)
ユニレックス3
[18kg/缶]
塗布型吸水調整材
(EVA系合成樹脂エマルジョン)

1. 清掃(補修)

脆弱な旧仕上材、下地の脆弱層、レイトンス、油脂、汚れ等はワイヤーブラシ、サンダー掛け等で除去し、水洗いまたは高圧洗浄を行って下さい。
※浮き、剥落の原因となりますので下地の清掃は入念に行ってください。

2. 吸水調整

コンクリートやモルタルなど吸水のある下地の場合は、吸水調整材ユニレックス3を水道水で3倍に希釈したものを施工面に塗布して吸水調整を行って下さい。ブロックやALC板等、吸水の激しい下地の場合は、ユニレックス3の5倍希釈液を塗布後、乾燥を待ってもう一度塗布して下さい(2回塗り)。
※ドライアウトの原因となりますので、下地への急激な吸水を調整する為に希釈倍率は厳守し、ムラ無く丁寧に塗布して下さい。
※ブロック等、下地の動きが想定される場合は、適切なひび割れ抑制措置が必要です。

3. 調合

下図の通りに調合し、モルタルミキサー等で練り残しの無い様によく混練して下さい。
※強度低下の原因となりますので、粉体と水道水の調合割合は厳守して下さい。
※練置きは夏期40分以内、冬期60分以内とし、練足し、水を加えての練り戻しはしないで下さい。



4. 塗付け

コテ圧をかけて下地に擦り込むように塗付け後、所定の厚さになるように塗付けて下さい。仕上材の種類によって、金ゴテ押さえ等を行って下さい。
※浮きや剥がれの原因となりますので所定厚以上の塗付けはしないで下さい。

5. 養生

通風や直射日光を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖、屋外ではシート掛け等の養生を行って下さい。また、施工後、降雨・降雪のおそれがある場合もシート掛け等の養生を行って下さい。
※強度が出ないおそれがある為、通風や直射日光により塗付け面の乾燥が激しい場合には、塗付け翌日以降に散水養生を行って下さい。
※初期の雨掛かり等は、強度不足・白華の原因となりますので、シート掛け等の養生を行って下さい。白華した場合には水洗い等により除去してから、次工程の作業を行って下さい。
※仕上材の浮きやはがれ、剥落の原因となりますので塗付け後、仕上げまでの養生は夏期7日以上、冬期14日以上として下さい。

注意事項

※本製品の仕様は予告なく変更する場合がありますので予めご了承下さい。

1. 施工前に補修面を十分に水洗・清掃して下さい。
2. 気温が3℃以下及び3℃以下になると予想される場合は、施工は行わないで下さい。
3. 直射日光・風雨時にはシート掛け等、十分な養生を行って下さい。
4. カチオンプラス#3の保管は、湿気・通風を避ける場所にして下さい。
5. 固まったものの使用は避けて下さい。
6. カチオンプラス#3には練水の外、弊社が特に指定するもの以外は混入しないで下さい。
7. カチオンプラス#3硬化前の雨水等による濡れは、白華の原因となりますので注意して下さい。
8. カチオンプラス#3の品質保持期間は製造後約3ヶ月です。

⚠ カチオンプラス#3は安全に正しくお使い下さい。PL法に関しては袋の裏書をよくお読み下さい。



ISO 14001取得企業

施工要領・SDS等は別途ご請求下さい

20191216.19